

# ペットと被災時快適避難生活

## 屋外に簡単に自分で作れるテント

- ・大地震のあとは、余震が頻繁に発生  
屋外での避難生活は、3～6ヶ月
- ・畳の上で生活できる安心感
- ・プライバシーの簡単確保
- ・ペットと避難生活
- ・何所にでも設置可



土台には通気性を持たせ、ブロック・煉瓦などを利用する  
骨組みの塩ビパイプは強度を持たせる為  
交差部分をビニールテープで固定  
塩ビパイプの固定は杭の穴を利用する  
安定感抜群



### 特徴

- 余震で倒壊の怖さがない
- 大人3人が足を伸ばして寝られるスペース
- 自宅の畳を3枚使用 寝心地抜群（板の間等比較）
- 畳本体に杭を水平に打ち込み塩ビパイプを固定
- 骨組みは軽く加工のしやすい塩ビパイプ
- 強度は骨組みを交差させて確保
- 中央に寒冷紗を使用し風通しと防虫・解放感あり
- シートはブルーシートを使用（簡単安価で入手可）
- 一般資材を使用し大人2名で1時間で作れる
- 骨組みとシートは直接簡単に止められるハウスパッカー使用



### 問い合わせ先

碧南防災ボランティア連絡会 代表 神谷賢司 090-4445-3424

# 自宅の畳を使って余震避難テントづくり

(被災時 快適な避難生活をする為に)



夏涼しく3畳の快適空間  
(防虫機能もあり)  
家族3人までOK

## ペットもイビキも プライバシー 完全確保

### 必要資材

土台部分(通気性を持たせる為に)

ブロック又は煉瓦 18 個  
コンパネ 3 枚

基礎部分(骨組みの固定と居住性の快適の為)

自宅の畳 3 枚

骨組み部分

13ミリ塩ビパイプ 4m 11 本  
塩ビパイプと畳止め金具 13 本  
畳止め金具 4 本  
パイプの端止めL字 15 個  
中止めT字接続 可動用 6 個  
ビニールテープ 5 個

テント部分

4m×4m 3000 ブルーシート 2 枚  
180×5m 寒冷紗 1 枚  
パイプとシートの止め19ミリ 50 個  
パイプとシートの止め22ミリ 50 個

工具

ゴムハンマー 1 本  
のこぎり 1 本  
カッターナイフ又はハサミ 1 本

# テント部分使用資材一覧

骨組み用13ミリ塩ビパイプ



骨組みと畳止め

畳ずれ止め

端止めL字接続

中T字可動接続



ブルーシート



暑さ対策用寒冷紗



骨組みとブルーシート止め



工具はこれだけ



## 組立作業手順

### ①土台部分

ブロックをコンパネ1枚当たり6個並べる  
ブロックの上にコンパネを縦1枚横2枚並べる

### ②基礎部分

コンパネに交差して畳を縦1枚横2枚敷く  
畳ずれ止め用に4か所側面に金具を打ち込む

### ③骨組み部分

畳に塩ビパイプ止め金具を横から打ち込む

- ◎ 両側面 4本を均等に端から端まで
- ◎ 入口面 四本を均等に端から端(実際は2本)
- ◎ 裏面 四本を均等に端から端

アンカーボルトの穴に塩ビパイプを通す  
交差部分をビニールテープで止める  
塩ビパイプの先端を接続パイプで接続

- ◎ 両横面  
両端はL字・中2か所はT字で塩ビパイプを止める
- ◎ 入口面  
中央に入口スペースを作るよう塩ビパイプを加工
- ◎ 後ろ面  
塩ビパイプ止金具を利用し両端をL字で止める

### ④テント部分

中央に暑さ対策の寒冷紗をパイプ止め具を使って止める  
(中央を決め止めていくと簡単)

寒冷紗の両面を折り代10cmほど残して切りそろえる  
寒冷紗の上にブルーシートを前方から 2/3で揃え入口面を  
加工して止め具でしっかり止める

後方からも 2/3の所からブルーシートを被せ加工し止め具  
でしっかり止める

両側面は前後ろ共 1/3の所を下の横パイプに寒冷紗と共に  
止め具でしっかり止める

(中央部分で重ね合える様に加工)

\* 以上初心者でも2名で1時間程度で組立完了します

問い合わせ先 碧南防災ボランティア連絡会

代表 神谷賢司 090-4445-3424